



青山学院大学と妙高市がタッグ！ 妙高市の名を全国区に！ 認知度向上プロジェクト

AOYAMA-GAKUIN-UNV × MYOKO CITY

妙高市は、青山学院大学と締結している「青山学院大学と妙高市との連携協力に関する協定」に基づき、新たな地域活性化プロジェクトを進めています。このプロジェクトでは、青山学院大学陸上競技部が箱根駅伝などで着用するユニフォームに、妙高市の市名と市章を掲示し、全国的な広告塔として妙高市の認知度向上を目指します。青山学院大学陸上競技部は、平成16年から毎年妙高市で合宿を行い、平成27年には箱根駅伝初優勝を果たしました。令和2年には青山学院大学と妙高市の連携協定を締結し、地域貢献と人材育成の協力体制を築いてきました。このご縁をもとに、令和3年からは妙高市が地方自治体として初めて、箱根駅伝のユニフォームにロゴを掲出するスポンサーとなり、大きな反響を呼んでいます。令和7年度に開催される「出雲駅伝」「全日本大学駅伝」「箱根駅伝」で着用するユニフォームに妙高市ロゴを掲示。全国放送の注目レースで、妙高市の知名度アップを目指します。妙高市は美しい自然に恵まれた観光地でありながら、まだ十分に魅力を発信しきれていない現状があります。このプロジェクトをきっかけに、より多くの方に妙高市を知り、訪れていただくことを期待しています。妙高市は雪質の良いスキーリゾートとして知られていますが、観光が冬季に偏っているのが課題です。青山学院大学陸上競技部の活躍を通じて年間を通じた認知度を高め、「通年型観光」の実現、地域経済の安定化・活性化を目指します。

寄附の使い道

ユニフォームへのロゴ掲出料
ロゴデザイン費用

目標寄附額

15,000,000円